

2014年1月発表  
半導体・FPD製造装置

需要予測

(2013年度～2015年度)

2014年1月8日

**SEAJ**

一般社団法人日本半導体製造装置協会

## 予測の概要

この予測は、半導体製造装置及び FPD 製造装置の需要動向に関して、一般社団法人日本半導体製造装置協会（略称 SEAJ、会長 丸山 利雄）の半導体調査統計専門委員会及び FPD 調査統計専門委員会による需要予測と SEAJ 理事・監事会社 17 社による市場規模動向調査結果を総合的に議論・判断し、SEAJ の総意としてまとめた結果である。

半導体製造装置については、2013 年度前半のメモリーメーカーを中心とした設備投資抑制の影響を受けて、2013 年度の日本製装置販売高を 7 月発表の 10.2% 増から僅かに下方修正し、8.5% 増の 1 兆 1,158 億円と予測した。2013 年度後半からのメモリーメーカーの投資再開や 2014 年度もファウンドリィや大手ロジックメーカーの底堅い投資が期待されることから、2014 年度は 11.6% 増の 1 兆 2,452 億円と 2 年連続の成長を予測した。2015 年度も 2.7% 増と継続的な成長を予測した。

FPD 製造装置については、2013 年から 2014 年にかけて主に中国での新規ライン立上げが計画・実施されている。また、高精細・中小型パネル用の投資も継続されることから、2013 年度の販売高を 35.0% 増の 2,820 億円、2014 年度は 1.4% 増の 2,860 億円と予測した。2015 年度も投資が継続し 5.6% 増と予測した。

- (1) 予測期間            2013 年度～2015 年度の 3 年間
- (2) 予測項目            半導体製造装置の「日本製装置」及び「日本市場」販売高  
                             FPD 製造装置の「日本製装置」販売高

### (3) 予測の背景

#### (半導体産業)

IMF の 10 月発表によると、2013 年の世界経済成長率は 7 月発表の 3.2% 増から減速し 2.9% 増にとどまる見込みである。米国経済は個人消費と民間投資が堅調であるが、ユーロ圏経済は低迷が長期化し、発展途上国・地域の経済もここ数年の高い水準には達しない見込みである。2014 年は 3.6% 増と堅調な成長が予想されている。

電子機器市場は、PC 需要の低迷が著しく 2013 年もマイナス成長が予測されている。一方、スマートフォンやタブレットなどの携帯情報機器は、新興国市場を中心に急成長し高成長を維持する見込みである。今後は、通信インフラや産業機器分野の成長も期待される。

WSTS の 2013 年秋季予測によると、2013 年の世界半導体市場は 2013 年春季予測の 2.1% 増から 4.4% 増に上方修正された。PC 不振から MOS マイクロは 2.6% のマイナス成長が予測されているが、ロジックは 3.8% 増と堅調な成長となり、価格が回復したメモリーが 18.1% 増の急増と予測されている。2013 年後半からの回復は、2014 年に 4.1% 増、2015 年は 3.4% 増と継続して緩やかな成長が見込まれている。

デバイスメーカーの設備投資は上位集中がますます加速し、2013年は上位3社で60%に達すると予測した。引き続き、ロジックの微細化やメモリーの高集積化に向けた投資が継続される見込みである。

#### (FPD 産業)

大型パネル最大のアプリケーションであるTV市場は、成長が鈍化しパネル価格も低迷しているが、スマートフォンやタブレット向けの高精細・中小型パネルは、数量・金額市場ともに高い成長率が続くものと見込まれている。パネルメーカーの収益も改善し、大手5社の2013年3Q決算では営業利益が黒字となった。2013年から2014年にかけて主に中国での新規ライン立上げが計画・実施されており、大型投資が期待される。また有機ELはスマートフォン向けが成長しており、今後は韓国のみでなく台湾や中国でも多くの投資計画が予定されている。

#### (4)予測結果

##### **【半導体／FPD製造装置・日本製装置販売高予測】**

2012年度の販売実績は22.1%減の1兆2,373億円であった。2013年度から2014年度にかけては、半導体・FPD製造装置ともに大きく回復することにより、全体で2013年度は13.0%増の1兆3,978億円、2014年度は9.5%増の1兆5,312億円と予測した。2015年度は、全体で3.2%増の1兆5,808億円と、2011年度に匹敵するレベルになると予測した。

##### **【半導体製造装置・日本製装置販売高予測】**

2012年度の販売実績は18.6%減の1兆284億円であった。2013年度は前半、組立・検査用装置が幾分弱含んだものの、後半のメモリー投資の回復を見込んで8.5%増の1兆1,158億円と予測した。2014年度は継続的な成長により11.6%増の1兆2,452億円、2015年度は2.7%増の1兆2,788億円と3年連続のプラス成長を予測した。

##### **【半導体製造装置・日本市場販売高予測】**

2012年度の販売実績は48.1%減の2,363億円であった。2013年度はメモリーメーカーの投資再開を期待し、53.8%増の3,635億円と予測した。2014年度は6.0%増の3,853億円、2015年度は一転減速し5.0%減の3,660億円と予測した。

##### **【FPD製造装置・日本製装置販売高予測】**

2012年度の販売実績は35.7%減の2,089億円であった。2013年後半から2014年にかけて中国で大型パネル向け新規投資が行われることにより、2013年度は大幅なプラス成長となる35.0%増の2,820億円を、2014年度は投資一段落し1.4%増の2,860億円と予測した。2015年度は投資が継続され、5.6%増の3,020億円と3年連続プラス成長を予測した。

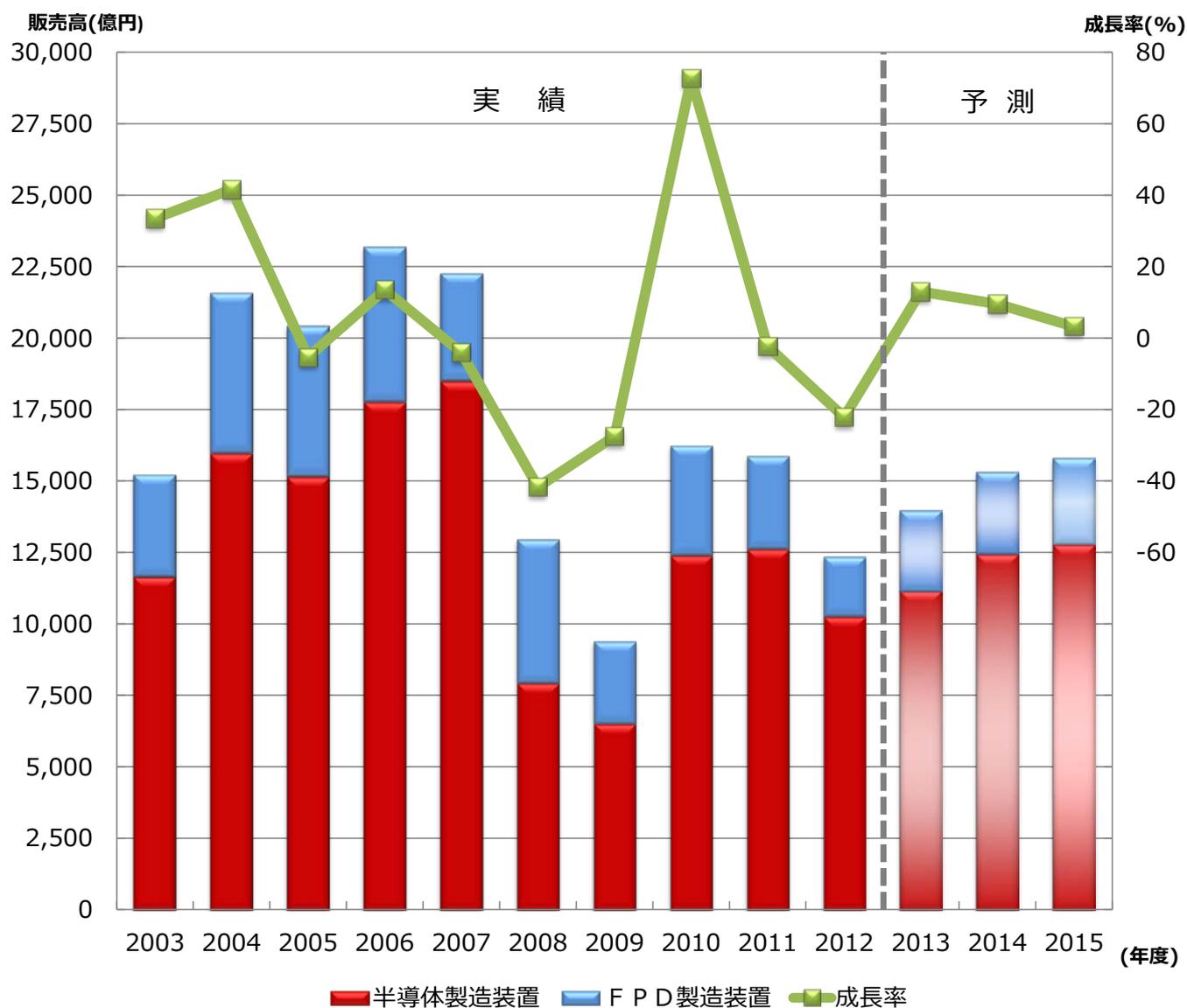
以上

## 2014年1月 半導体及びFPD製造装置 需要予測

### ■ 1. 半導体及びFPD製造装置 全装置予測

#### 【日本製装置販売高予測】

\*「日本製装置販売高」とは、日系企業（海外拠点を含む）の国内及び海外への販売高です。



(CAGR : 2012年 - 2015年)

年度	実績										予測			CAGR
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
半導体製造装置	11,671	15,981	15,169	17,778	18,510	7,954	6,528	12,415	12,637	10,284	11,158	12,452	12,788	8.5%
FPD製造装置	3,575	5,614	5,272	5,429	3,761	5,031	2,887	3,840	3,250	2,089	2,820	2,860	3,020	
合計(億円)	15,246	21,596	20,441	23,206	22,271	12,985	9,415	16,255	15,887	12,373	13,978	15,312	15,808	
前年比成長率 (%)	33.5	41.6	-5.3	13.5	-4.0	-41.7	-27.5	72.7	-2.3	-22.1	13.0	9.5	3.2	

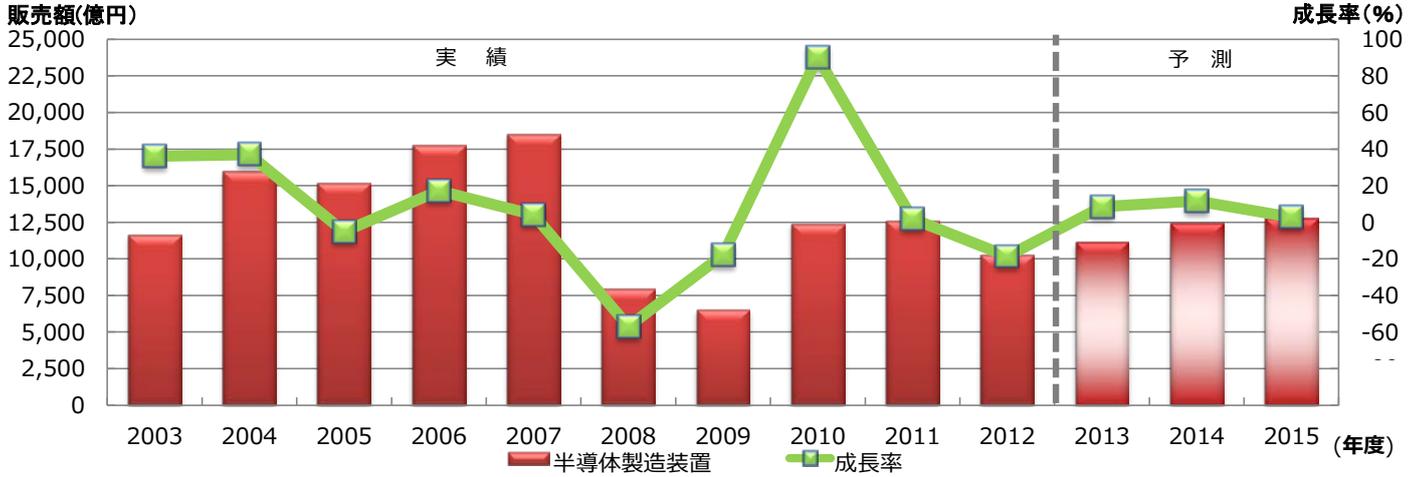
\* 当協会の許可なく、この報告書を転載又は複写すること、公表または公表を補助することを禁止します。

## 2014年1月 半導体製造装置 需要予測

### ■ 2. 半導体製造装置

#### 【日本製装置販売高予測】

\*「日本製装置販売高」とは、日系企業（海外拠点を含む）の国内及び海外への販売高です。

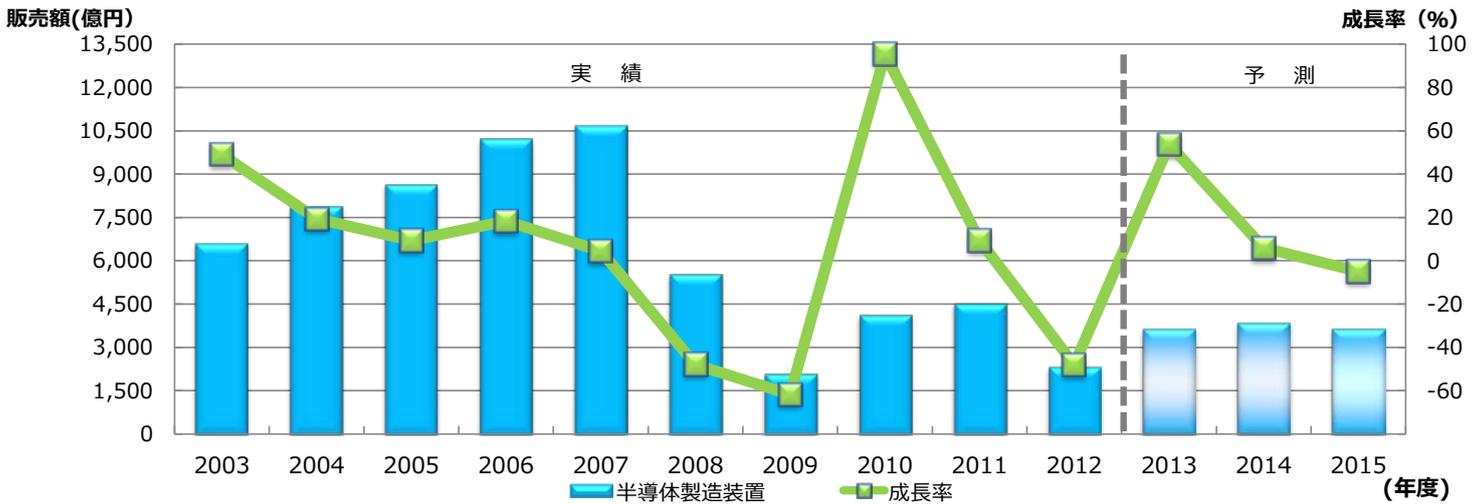


(CAGR : 2012年 - 2015年)

年度	実績										予測			CAGR
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
合計(億円)	11,671	15,981	15,169	17,778	18,510	7,954	6,528	12,415	12,637	10,284	11,158	12,452	12,788	
前年比成長率(%)	36.1	36.9	-5.1	17.2	4.1	-57.0	-17.9	90.2	1.8	-18.6	8.5	11.6	2.7	7.5%

#### 【日本市場販売高予測】

\*「日本市場販売高」とは、国内向日系企業及び国内向外資系企業製装置の販売高です。



(CAGR : 2012年 - 2015年)

年度	実績										予測			CAGR
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
合計(億円)	6,634	7,918	8,658	10,241	10,694	5,567	2,130	4,162	4,552	2,363	3,635	3,853	3,660	
前年比成長率(%)	49.0	19.4	9.3	18.3	4.4	-47.9	-61.7	95.4	9.4	-48.1	53.8	6.0	-5.0	15.7%

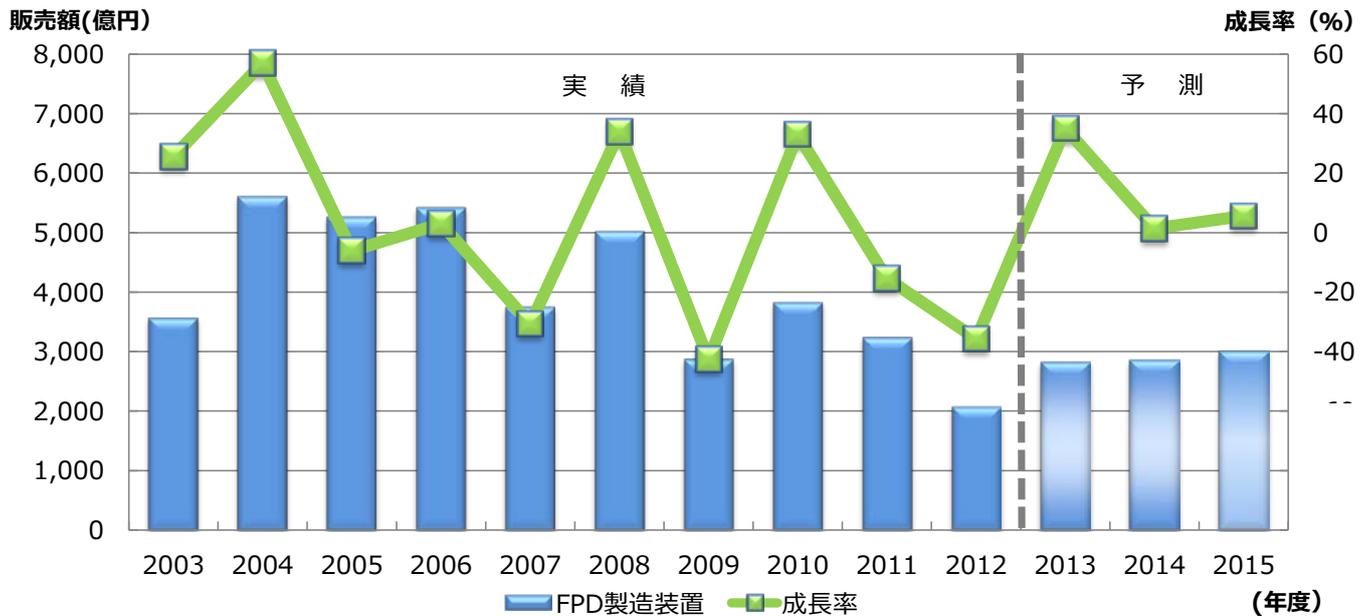
\* 当協会の許可なく、この報告書を転載又は複写すること、公表または公表を補助することを禁止します。

## 2014年1月 FPD製造装置 需要予測

### ■ 3. FPD製造装置

#### 【日本製装置販売高予測】

\*「日本製装置販売高」とは、日系企業（海外拠点を含む）の国内及び海外への販売高です。



(CAGR : 2012年-2015年)

年度	実 績										予 測			CAGR
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
合計(億円)	3,575	5,614	5,272	5,429	3,761	5,031	2,887	3,840	3,250	2,089	2,820	2,860	3,020	
前年比成長率 (%)	25.6	57.1	-6.1	3.0	-30.7	33.8	-42.6	33.0	-15.4	-35.7	35.0	1.4	5.6	13.1%

\* 当協会の許可なく、この報告書を転載又は複写すること、公表または公表を補助することを禁止します。